

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009横第22号	
事故等名	貨物船第八十八永久丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年12月31日22時30分ごろ	
発生場所	静岡県清水港外防波堤南灯台から真方位348° 60m付近 (北緯31° 3'、東経135° 24' 8")	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年1月29日横浜・地方事故調査官が船舶所有者から事故概要書、損傷状況写真、外板展開図写等を入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 貨物船 第八十八永久丸 499トン 船舶番号(IMO 番号) 136865 船舶所有者等 有限会社坂田海運	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	球状船首部に亀裂等	
事故等の経過	本船は、阪神港堺泉北区にて、コイル1,639トン積載後、静岡県田子の浦港に向け出港した。静岡県清水港の袖師第一ふ頭に係留して荷役待ちすることとし、清水港の防波堤入り口に向けて航行中、小型漁船や停泊船を避けながら航行していたところ、平成20年12月31日22時30分ごろ、防波堤の消波ブロックに乗り揚げた。 乗揚の結果、球状船首部に亀裂を生じ、船首水倉に浸水した。 当時、天候は、雨で、北北東の風、風力1であった。	
分析	気象・海象の関与 なし 乗組員等の関与 あり 船体・機関等の関与 なし 判明した事項の解析 本船は、船位の確認を十分に行わなかった可能性があると考えられる。	
原因	本事故は、夜間、本船が航行中、他船に気をとられ船位の確認を十分に行わなかったため、消波ブロックに乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	